

## まえがき

先に出版した土木職公務員試験の[必修科目編]と[選択科目編]は、公務員を目指す学生からの評判も上々で、実際、国家公務員Ⅱ種試験（平成24年度からは一般職試験）を受験した学生の正答率を調べてみると大幅に上昇し、著者の所属する学科では今まで以上に多くの公務員合格者を出せるようになりました。

当然ですが、公務員試験では過去問と全く同じ問題が出題されることはありません。しかしながら、試験で問われる重要箇所に変わりはありませんので、**実際の公務員試験でも過去問と類似した問題が数多く出題されています**。それゆえ、著者は、[必修科目編]と[選択科目編]ならびに[数学編]と[物理編]の4冊さえしっかり勉強すれば、国家公務員Ⅱ種試験（平成24年度からは一般職試験）の専門科目であっても合格ラインの正答率は十分に得られ、70～80%の正答率だって決して夢ではないと考えています。

そんな矢先、公務員試験に絶対に合格したいので、「頑張って4冊とも勉強し終えました。もっともっと多くの問題を解いて実力アップを図りたい」という熱心な学生が現れ、そして、その学生から、“是非とも実践問題集編を出版して下さい”という要望を受けました。「老眼が進んで字も見にくいし、何より私立大学の教員の仕事は、学生のみんなが思っているほど楽ではなく、結構大変なんだよ」と心の中でつぶやきながらも、勉強熱心な教え子が育ってきたことが嬉しく、最後の力をふりしぼって“実践問題集編”を執筆する決心をした次第です。

ページ数の関係もありますので、“実践問題集編”の執筆にあたっては[実践問題集（数学・物理）編]と[実践問題集（必修・選択科目）編]の2冊に分冊することにしました。このうち、本書は[実践問題集（必修・選択科目）編]で、その執筆にあたっては、[必修科目編]や[選択科目編]とまったく同様に、次のように心がけました。

- ①「です」「ます」調で文章を記述する。
- ②それぞれの問題に対しても十分な解説を行う。

なお、本書は2010年5月に初版第1刷を発行した後、刷と版を重ねてきましたが、従来の「国家公務員Ⅱ種試験」が「一般職試験」に、「国家公務員Ⅰ種試験」が「総合職試験」にそれぞれリニューアルされたこともあり、一般職試験や総合職試験ならびに大阪府職員採用試験で出題された問題も新たに追加して、第3版として発行することにしました。

本書はあくまでも[必修科目編]と[選択科目編]の補足を目的としたものですので、[必修科目編]と[選択科目編]を学習した後に、本書を活用していただきたいと思います。ただし、この[実践問題集（必修・選択科目）編]までも学習していただければ、公務員試験に合格する確率がグーンと上がることは間違いありません。途中で諦めないで、目標に向かって日々努力している人には運も味方します。是非とも本書を有効に活用していただき、皆さんの夢を実現していただければと願っております。

最後になりましたが、本書を執筆するにあたり、参考文献にあげました多くの図書を参照させていただきました。紙面を借りて、これらの参考文献を執筆された先生方に敬意を表するとともに、心から厚くお礼を申し上げたいと思います。

2017年1月

著者

土木職公務員試験 専門問題と解答 [実践問題集 必修・選択科目編] [第3版]

---

目次

まえがき .....	i
第1章 構造力学 .....	1
第2章 水理学 .....	78
第3章 土質力学 .....	129
第4章 選択科目 .....	181
参考文献 .....	240